



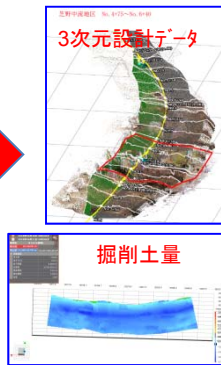
# 雄物川下流芝野中流地区河道掘削外工事

|               |                                       |
|---------------|---------------------------------------|
| 工期            | H29.12.5~H30.11.20                    |
| 発注方式          | 施工者希望 I 型                             |
| 土工数量          | 21,700m <sup>3</sup>                  |
| 問合せ先<br>(発注者) | 秋田河川国道事務所<br>工務第一課<br>TEL018-864-2286 |

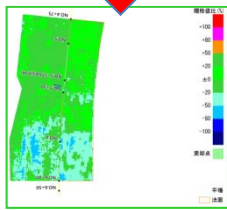
○河川土工において、広大な面積の安定的な品質確保と生産性の向上を目標にICT活用に取り組む。  
○ICTを活用する事で、速やかな設計数量の確定と出来形の簡素化の実現及び現場施工に対する「見える化」によるオペレーターの不安解消を目的とする。



TLSによる起工測量

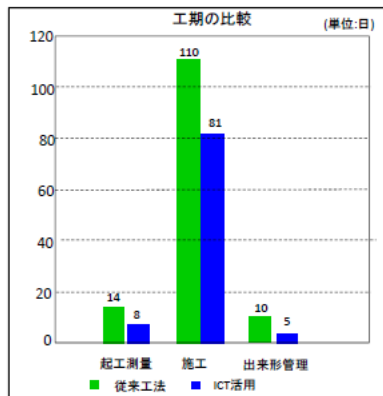


3DMGバックホウによる法面整形

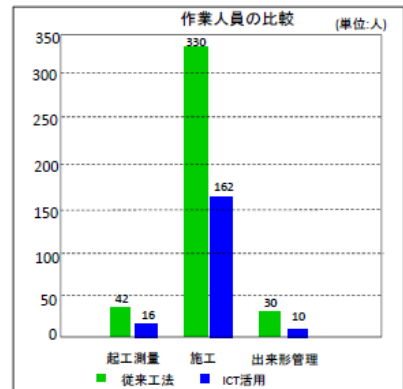


ヒートマップ

## ICT土工と従来工法との比較



計 40日短縮 (134日⇒94日)



計214人減少 (402人⇒188人)

## 現場の声(株沢木組)

- 工期:** 起工測量~出来形等の施工管理のプロセスについて、従来と比較し作業日数が40日短縮できた。
- 人員:** 測量・丁張等の施工管理人員を大幅に削減でき、生産性向上につながった。
- 安全:** 重機周辺を作業員が移動することが少なくなり、事故発生リスクの削減ができた。
- 品質:** 点群での施工と管理となるため、品質の安定と向上が図られた。